高岡市立国吉義務教育学校　学校だより
水よし 人よし 国吉
令和７年度 第４号
発行日：９月９日

「陽口」

校長　山 岸　英 紀

２学期が始まり２週間が経ちました。暑さとの戦いは当分続きそうですが、どの学年の子供たちも頑張っています。休み明けは、朝の挨拶の声が少し低調かなと感じていましたが、日に日によくなってきています。やはり子供たちの気持ちのよい声が聞こえると、こちらも元気になります。私たちもその挨拶にしっかりと応えてあげなければと思います。夏休み中は猛暑日が何日もあり、家で過ごす時間が多くなった人もいることでしょう。そろそろ疲れが出てくる頃かもしれませんが、体調管理をしっかりして元気に乗り切ってほしいと思います。

さて、始業式では「陽口」の話をしました。「陰口」の反対語としてインターネット上を中心に使われている造語のようですが、私は初めて知りました。「ひなたぐち」と読み、「本人がいないところで大いに褒める、感謝する」という意味だそうです。調べものをしていて偶然見付けたのですが、響きもよく、どうして今まで無かったのだろうと思いました。

人は集まると「陰口」を言ってしまうことがあります。私も例外ではありません。はじめは興味本意で聞いたり、言ったりしてすっきりしたような気分になっても、結局後味が悪くなるものです。自分がいやになることもあります。

では、「陽口」はどうでしょうか。本人がいないところで「○○さん、こんなこと手伝ってくれた」と感謝したり、「△△さんのアイディアすごいな」などと褒めたりできれば、きっと話し終えた時に誰もがポジティブになれるのではないでしょうか。この夏に自分の小中学校時代の同窓会をしたとき、参加できなかった友達の話題になり、「あいつ面白かったよな」とか「優しかったよな」という話をしながら、これが「陽口」なんだと思う場面がありました。その場にいない友人を囲んでみんなが気持ちよく明るくなれたのです。

今の時代はネットでつぶやくことやＳＮＳで会話することが当たり前です。目の前に相手がいないから、何でも言える時代です。だからこそ、「陽口」を贈り合ってみたいものだと思います。ネット上が誹謗中傷でなく「陽口」であふれると、世の中はずいぶん変わると思うのですが…。

児童生徒会が１学期から取り組んでいる渡り廊下の「笑顔の大輪」には、様々な感謝の気持ちが表れています。国吉義務教育学校全体に広がる「陽口」になっていると思います。２学期もこの大輪がどんどん増えることを願っています。

8/29(金)みんなが楽しみにしていた給食開始！

＜「祭りだよ！全員集合@くによし～あなたの笑顔が主役です～」の開催について＞

今年度は、１０月１８日の学習発表会後に、ＰＴＡ、連合自治会、学校運営協議会の皆さんが地域の方々に楽しんでもらえるイベントを企画されています。チラシも配付されていると思いますが、子供たちの発表を応援していただいた後は、ぜひ、こちらもお楽しみください。